

会議の目的	市内病院の地域連携担当者と、在宅医療・介護との連携の推進について、意見交換を実施し、課題の共有と対応策の検討を図る。	
今年度のテーマ	人生の最終段階における意思決定支援を行う上での、病院と在宅との連携のあり方を考える	
開催日	第1回：6月13日(火) 第2回：10月17日(火)	
出席者	第1回：MSW等18名(14病院)、在宅側*41名 第2回：MSW等21名(14病院)、在宅側*36名	*診療所相談員、訪問看護師、ケアマネ、地域包括支援センター、施設相談員等

## グループワークでのご意見

### 第1回：現状と課題の共有

- 病院⇄在宅⇄施設の連携が難しい（意思決定のタイミングや、専門職の想いも違う）
- 専門職同士で話し合う機会が減っている
- 本人・家族・専門職の意向が一致しない場合の難しさがある
- 意思決定に関してツールがない、関わる専門職の力量にかかってくる



### 第2回：具体策や取り組みの検討

- 常に本人を中心に考える。気持ちは揺れ動いても良い。何度も確認し、共有する
- 時間を割いて、この人なら話せると思ってもらえる関係づくりをする
- 支援者同士の連携、日頃からの関係構築が重要
- 多職種の見点が違うことを理解し、すり合わせる
- 多職種で目視で確認できるものを残す
- 支援者自身の相談先を確保する

## アンケートでのご意見

- 本人・家族の意向を丁寧に聞くことと、情報提供を徹底したい
- 意思決定支援ガイドラインをもう一度読み勉強しようと思った
- どのように意思決定したのかというプロセスもしっかり共有することが大切
- 連携強化のために、退院時カンファレンスは積極的に実施したい